

インパルス・ジェネレータ
DPG-1NF

仕様書

初版

2017/12/06 初版発行

株式会社ディエステクノロジー

概要

インパルス・ジェネレータ、DPG-1NFはパルス幅 1.5nSec、振幅 50V 以上のインパルス信号を発生させる装置です。

インパルス信号の極性は正・負の選択および、振幅の調整が可能です。

外部トリガにより、任意タイミングで出力させることができるほか、押しボタンスイッチによるワンショット出力、フリーラン(繰り返し)による連続出力が可能です。

構成

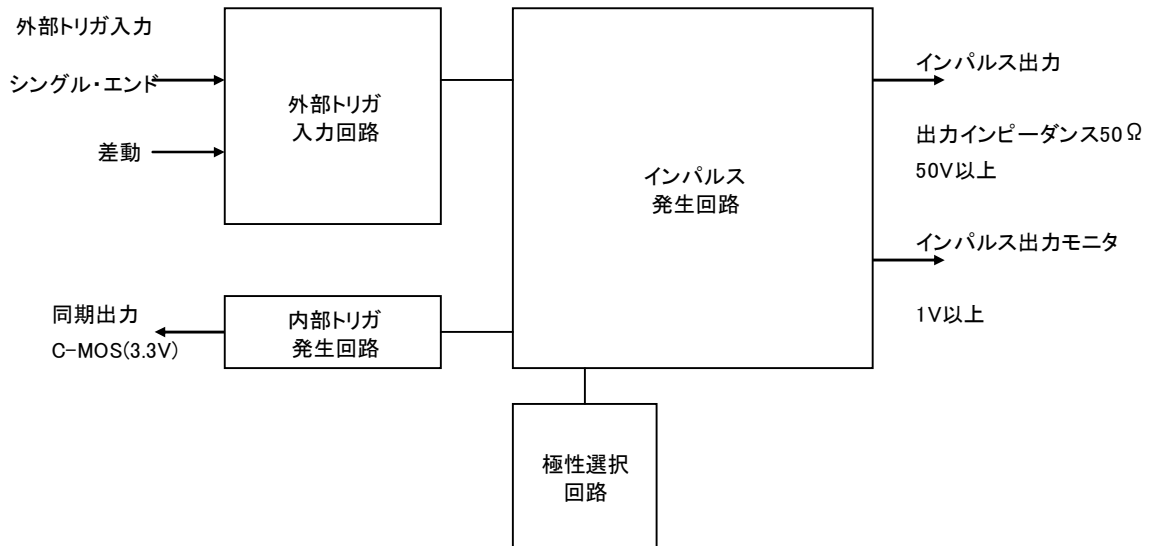


図 1

外観



電氣的仕様

出力

パルス幅	1.5nSec +/-0.5nSec (半値幅)
最大振幅	50V 以上
振幅可変	±10V 以上
コネクタ	SMA

モニタ出力

パルス幅	1n.5nSec +/-0.5nSec 以下(半値幅)
振幅	1V 以上
コネクタ	SMA

トリガ

内部モード

動作	ワンショット / フリーラン(100uSec 周期)
同期出力	C-MOS(3.3V)
コネクタ	BNC

外部モード

トリガレベル	C-MOS(3.3V)
作動条件	立ち上がりエッジで動作
最小パルス幅	10uSec
最小周期	100uSec
コネクタ	BNC

電源 AC 100V

消費電力 1W 以下

タイミング仕様

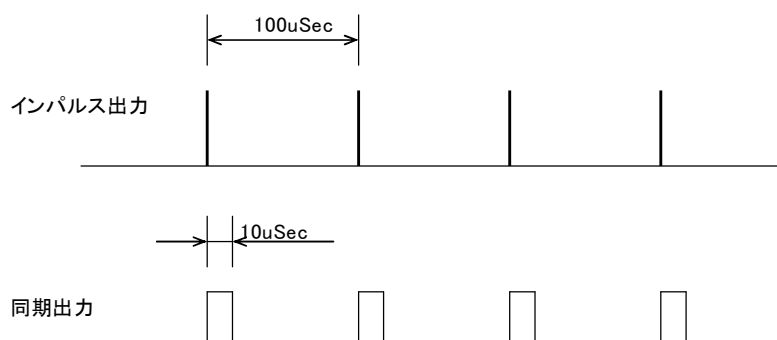


図 2
内部トリガ・モード
フリーラン動作

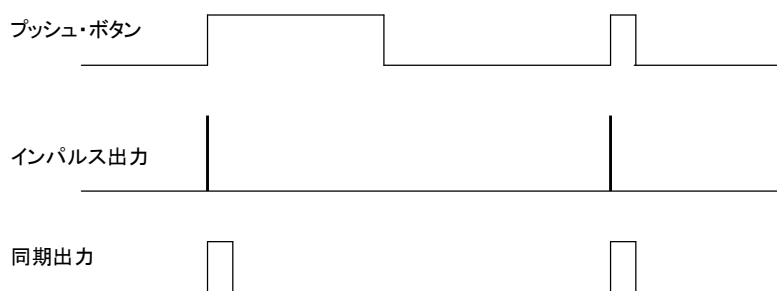


図 3
内部トリガ・モード
ワンショット動作

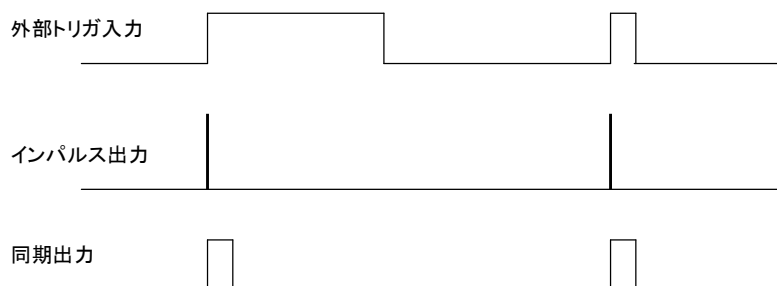


図 4
外部トリガ・モード

使用方法

内部トリガ・モードの場合

- ・トリガ切替スイッチ「TRIG SOURCE」を「INT」にします。
- ・操作モードを選択します

ワンショット・モードの場合

- ・トリガ・タイプ・スイッチ「TRIG TYPE」を「PUSH」にします。
- ・「SHOOT」ボタンを押します。
- ・インパルス信号が出力されます。
- ・出力に同期した信号が出力されます。

フリーラン・モードの場合

- ・トリガ・タイプ・スイッチ「TRIG TYPE」を「CONT」にします。
- ・インパルス信号が 100uSec 周期で繰り返し出力されます。
- ・出力に同期した信号が出力されます。

外部トリガ・モードの場合

- ・トリガ切替スイッチ「TRIG SOURCE」を「EXT」にします。
- ・出力に同期した信号が出力されます。

外部トリガ・タイプの選択

シングル信号の場合

- ・トリガ・セレクト・スイッチ「TRIG SELECT」を「SINGLE」にします。

作動信号の場合

- ・トリガ・セレクト・スイッチ「TRIG SELECT」を「DIFF」にします。

極性の選択

極性選択スイッチ「POLE」を「POS」にすると正極性、
「NEG」にすると負極性となります。

外部トリガレベル調整

トリガレベル調整つまみ「TRIG LEVEL」を回して調整します。

同期出力

インパルス信号が出力されるとそれに同期した、
C-MOS レベル信号が出力されます。

モニタ出力

モニタ用にインパルス信号のレベルを 1V に落とした信号が出力されます。

注意

内部に高電圧発生回路があり大変危険ですので、分解しないでください。

以上